

慶應義塾大学ビジネス・スクール

JA 郡山市

5

福島県の米はおいしい。(財)日本穀物検定協会が全国規模で実施している食味試験において、福島産の米の中、会津地方と中通地方と呼ばれる県央^[1]の「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」は、基準米よりも特に良好とされる最高ランク「特A」を獲得している(資料1参照)。2002年には、「特A」は全国でも、新潟・魚沼産コシヒカリなど12銘柄しかない。一方、「A」ランクは81産地・品種に達する。

10

JA 郡山市は、その中通地方に位置する郡山市の農業協同組合である(資料2参照)。協同組合にみられがちな情実や馴れ合いによる密室経営、放漫経営を牽制し、経営の透明性を目指して、全国に先駆けて経営管理委員会を設置するなど積極的な試みを行っている。

15

郡山の米に対する評価は高いものの、一般の消費者にとって「特A」と一ランク下の「A」の味の差はわかりにくく、日本における産地間競争は厳しさを増している。また、今後は、消費者動向の変化、カリフォルニア米など海外からの輸入米との競合など、大きな困難が待ち受けている。

20

日本の米がおかれた状況

日本の米は、生産、消費、流通において大きな転機を迎えている。

25

^[1] 福島県は、会津若松市を中心とする会津地方と、郡山市、白河市、福島市を中心とする中通地方、太平洋岸の浜通地方の3つに区分される。

本ケースは、クラス討議のための資料としてまとめられたものであり、経営管理に関する適切あるいは不適切な処理を示すことを意図したものではない。本ケースは慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授中村洋と株式会社ビジネスコンサルタント恩田勲が公表資料、関係者へのインタビューをもとに作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール(〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 中村洋, 恩田勲 (2005年10月作成)